

群馬工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	ディジタル信号処理特論
科目基礎情報				
科目番号	138	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産システム工学専攻	対象学年	専2	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	電子情報通信工学シリーズ「デジタル信号処理」萩原将文 森北出版 ISBN978-4-627-70131-1			
担当教員	市村 智康			

### 到達目標

授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) 信号処理の基礎と数学的背景が理解できる。
- (2) 離散信号の取扱い、その処理方法と応用が理解できる。
- (3) デジタル信号処理の簡単な応用について説明できる。

### ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	信号処理の基礎と数学的背景が十分に理解できる	信号処理の基礎と数学的背景が理解できる	信号処理の基礎と数学的背景が理解できない
評価項目2	離散信号の取扱い、その処理方法と応用が十分に理解できる	離散信号の取扱い、その処理方法と応用が理解できる	離散信号の取扱い、その処理方法と応用が理解できない
評価項目3	デジタル信号処理の簡単な応用について詳しく説明できる	デジタル信号処理の簡単な応用について説明できる	デジタル信号処理の簡単な応用について説明できない

### 学科の到達目標項目との関係

#### 教育方法等

概要	デジタル信号処理の基礎について修得する。具体的に、フーリエ級数展開とフーリエ変換の復習、ラプラス変換とZ変換、離散フーリエ変換、IIRシステム、FIRシステムなどについて学ぶ。
授業の進め方・方法	板書を中心に行う。
注意点	

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	1週	信号処理の基礎（1）	フーリエ級数展開、フーリエ変換について復習し、演習により理解を確かめる。
	2週	信号処理の基礎（2）	フーリエ級数展開、フーリエ変換について復習し、演習により理解を確かめる。
	3週	信号処理の基礎（3）	フーリエ級数展開、フーリエ変換について復習し、演習により理解を確かめる。
	4週	信号処理の基礎（4）	フーリエ級数展開、フーリエ変換について復習し、演習により理解を確かめる。
	5週	ラプラス変換とZ変換（1）	連続システムにおけるラプラス変換・逆変換を復習するとともに、離散信号の取扱いのためにサンプル値のラプラス変換からZ変換を導く。またその性質、逆Z変換について学習する。
	6週	ラプラス変換とZ変換（2）	連続システムにおけるラプラス変換・逆変換を復習するとともに、離散信号の取扱いのためにサンプル値のラプラス変換からZ変換を導く。またその性質、逆Z変換について学習する。
	7週	ラプラス変換とZ変換（3）	連続システムにおけるラプラス変換・逆変換を復習するとともに、離散信号の取扱いのためにサンプル値のラプラス変換からZ変換を導く。またその性質、逆Z変換について学習する。
	8週	ラプラス変換とZ変換（4）	連続システムにおけるラプラス変換・逆変換を復習するとともに、離散信号の取扱いのためにサンプル値のラプラス変換からZ変換を導く。またその性質、逆Z変換について学習する。
4thQ	9週	離散フーリエ変換（1）	サンプル値のフーリエ変換（離散フーリエ変換）の性質、演算量について学習する。
	10週	離散フーリエ変換（2）	サンプル値のフーリエ変換（離散フーリエ変換）の性質、演算量について学習する。
	11週	離散フーリエ変換（3）	サンプル値のフーリエ変換（離散フーリエ変換）の性質、演算量について学習する。
	12週	離散フーリエ変換（4）	サンプル値のフーリエ変換（離散フーリエ変換）の性質、演算量について学習する。
	13週	離散時間システム（1）	IIRシステムとFIRシステム、たたみ込みについて学習する。
	14週	離散時間システム（2）	IIRシステムとFIRシステム、たたみ込みについて学習する。
	15週	デジタルフィルタ	フィルタの種類と設計法の概要について学習する。
	16週		

### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	20	60
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---